| 学校番号 | 3025 |
|---|---|

# 令和８年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | （学）文学研究 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | 「改訂版　小説速読トレーニング　標準」　（数研出版）<br>「大学入試国語頻出問題 1200[五訂版]」（いいずな書店）<br>「文学国語」（大修館書店） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

目まぐるしい変化を遂げる現代社会において、自分とは何か、自分はどう生きるべきかという問いは不可避です。近代の様々な文学作品を読み込んでいく中で、その問いに自分なりの答えを見つけることを大きな目標として、学習を進めていきましょう。まずは作品が書かれた時代や状況を踏まえた正確な作品理解、そして今を生きる自分自身の読み方、さらには今の自分の思いを創作へとつなげていくことで、文学（作品）は君たち自身の生きる糧となるはずです。

## 2　学習の到達目標

【知識及び技能】
作品の時代背景、作者の人となり、作品世界や作品の技法や特色について理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
作品に対して、基本的な事項を抑えたうえで、自分なりに考え、さまざまな視点から作品への理解を深める。
【学びに向かう力、人間性等】
様々な作品、文章に触れることで、自分の世界を広げ、自分の考えやイメージを自分なりに表現する。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。 | 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。 | 言葉がもつ価値を認識し、積極的に他者に学ぶことで、異なるものの関係性に気づくとともに、新たな創造を生み出す。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一学期 | 筆者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と感覚との関係について考える。<br>［教材］<br>舞姫（小説） | a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。<br>・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。<br>・心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。<br>[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。<br>c：　登場者の心情の変化を、文章の中から見出し、言語化することを目指すとともに、自分たちの体験と照らして、類似性や違いを感がる。 | 小テスト等<br>定期考査 | 定期考査<br>ワークシート<br>レポート | レポート<br>行動の観察 |
| | 筆者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と感覚との関係について考える。<br>［教材］<br>詩歌（短歌） | a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。<br>・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>・書かれている語彙を知識として、正確に認識し、理解する。<br>b[書]：作品を読み理解した後、自ら作品の作成に取り組むことで、制限された文で表現する深みと創作の面白みを理解する。<br>[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を踏まえている。<br>c：粘り強く言葉と感覚との関係について作品を理解し、学習課題に沿って自分の経験を踏まえ、作品化する。 | 小テスト等<br>定期考査 | 定期考査<br>ワークシート<br>レポート | 創作（短歌）<br>行動の観察 |
| 二学期 | 筆者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と感覚との関係について考える。<br>［教材］<br>檸檬（小説） | a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。<br>・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。<br>[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。<br>c：粘り強く言葉と感覚との関係について作品を理解し、登場人物の心情を理解する。 | 小テスト等<br>定期考査 | 定期考査<br>レポート | レポート<br>行動の観察 |
| | 筆者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と感覚との関係について考える。<br>［教材］<br>詩歌（俳句） | a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。<br>・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしている。 | 小テスト等<br>定期考査 | 定期考査<br>ワークシート<br>レポート | 創作（俳句）<br>行動の観察 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | ・書かれている語彙を知識として、正確に認識し、理解する。<br>b[書]：作品を読み理解した後、自ら作品の作成に取り組むことで、制限された文で表現する深みと創作の面白みを理解する。<br>[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を踏まえている。<br>c：粘り強く言葉と感覚との関係について作品を理解し、学習課題に沿って自分の経験を踏まえ、作品化する。 | | | |
| | 筆者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と感覚との関係について考える。<br>［教材］<br>陰翳礼讃（随想・評論） | a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。<br>・文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。<br>[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。<br>c：粘り強く言葉と感覚との関係について作品を理解し、筆者の心情を理解する。 | 小テスト等<br>定期考査 | 定期考査<br>ワークシート<br>レポート | レポート<br>行動の観察 |
| | 筆者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と感覚との関係について考える。<br>［教材］<br>手紙（戯曲） | a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。<br>・心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>・文学作品における描写の中で、台詞に特化した状態での作品の位置と描写の特徴を理解する。<br>b[読]:「文章の種類を踏まえて内容や構成展開、描写の仕方などを的確に捉えている。<br>[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、に対するものの見方や感じ方、考え方を深めている。<br>c：粘り強く言葉と感覚との関係について筆者（登場者）の捉え方を理解し、学習課題に沿って自分の経験を振り返って考えをまとめ、発表しようとしている。 | 小テスト等<br>定期考査 | 定期考査<br>ワークシート<br>レポート | レポート<br>行動の観察 |
| 三学期 | 筆者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と感覚との関係について考える。<br>［教材］<br>詩歌（詩） | a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。<br>・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>b[書]：作品を読み理解した後、自ら作品の作成に取り組むことで、言語で表現する深みと創作の面白みを理解する。<br>c：粘り強く言葉と感覚との関係について作品を理解し、学習課題に沿って自分の経験を踏まえ、作品化する。 | 小テスト等 | ワークシート<br>レポート | レポート<br>行動の観察<br>創作（詩） |
| | 筆者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と感覚との関係について考える。<br>［教材］<br>日常の出来事や事物、ニュースなど。 | a：日常にあるニュースなどに使われる、短い文章に対し、情報を補足し、正しく理解できる知識の習得を行う。<br>・書かれていることや出来事の状況や情景の豊かさ、心情に対し、その機微を表す語句の量を増し、また、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | 小テスト等 | ワークシート<br>レポート | 発表<br>行動の観察 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | b[話／聞]:自ら考えたことや感じたことを言葉にして発表し、また他者の発表を聞いて自らの思索を深める。<br>[読]:作品の内容や解釈を踏まえ、作者のものの見方、感じ方や考え方を理解する。<br>c:限られた文章や出来事の中にある本質的な部分を理解し、自らの意見や思考を構築し、言語化する。 | | | |

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　５　　）時間

・書くこと　…　（　　１０　　）時間

・読むこと　…　（　　５５　　）時間